

一貫した哲学、グリーンビルディングの先駆者石黒先生

日本グリーンビルディング協会 初代会長 藤沢 寿朗氏



PES 建築設計事務所設立50周年を迎え、お祝い申し上げますと同時に石黒隆敏先生の進められた「グリーンビルディングの普及」について敬意を表します。

まだ、建築業界でのCO2削減があまり云われていない1997年頃から、米国のグリーンビルディング協会に所属され、その考え方に基づいて日本グリーンビルディング協会を設立されました。

当時はまだ地球環境に良い建物についての考え方が不明確でしたが、エネルギーの使用量、建築材料の選び方、土地の適正利用だけでなく、居住者の健康や生産性を高める事等トータルでの設計の必要性を説かれ、それは現在のZEBやZEHに繋がっていると思っています。

また国交省が検討する以前からいち早くBREEAM（英国）とLEED（米国）を日本に紹介され、考え方の定着や基準づくりをされました。

人が生活したり仕事をする住居やビルディングにおけるCO2排出量は地球全体の1/3と云われていますが、その空間での環境負荷低減の進め方としてグリーンコミッシングを実施され、また石黒隆敏先生の考え方に基づいて多くの建築を設計され、日本におけるグリーンビルディングの先駆的モデルになっています。

私は日本グリーンビルディング協会設立時の会長の名誉を受けましたが、私自身も幅広い考え方が身につき今も環境に携わっています。

石黒先生は、建築の環境を考えるとときに、技術として単なるCO2削減でなく、地球環境を自然との共生や人間のよりよい生活との関係の中で捉えるという哲学が一貫しており、国内でグリーンビルディングという概念を定着された先駆的な先生です。

今後の発展を祈念しています。



日本グリーンビルディング協会発足
中央：デイビット・ゴットフリート（全米グリーンビルディング協会設立者）